

新年度のスタートにあたって

焼津市長 中野弘道

新年度のスタートにあたり、今年度の当初予算における市政運営の基本的な考えを申し上げます。

市民の皆様が将来にわたって豊かに暮らし続けていくことができるまちを創るため、市政運営の目標である「共に拓く未来創り」を継承するとともに、まちづくりのビジョンとして、小さな「対話」を積み重ねることで、励まし支え合う社会を実現します。また、さまざまな財源確保により、市民サービスを向上させることで、安心感と幸福感を実感できる暮らしやすいまちとなり、転入者も増加する「好循環社会の実現」を目指します。

今年度は、本格的な人口減少時代を迎える中においても、持続可能なまちづくりの実現のため、「焼津ダイヤモンド構想」を発展させ再構築を進めている「焼津未来デザイン」の基本的な考えを踏まえて、次の6つの重点取り組みを強く進めてまいります。

1つ目は、子ども・子育て支援のグレードアップであります。

「ママ・パパになるなら焼津市〜めざせ！子育て日本一！〜」をキャッチフレーズに、子ども・子育て世帯に対し切れ目のない支援に取り組むとともに、

子どもたちが心豊かに育ち、学び、いきいきと生活できるよう、きめ細やかな支援の一層の充実に取り組んでまいります。

2つ目は、健康・共生社会実現へのステップアップであります。

超高齢社会において、家族のつながりや地縁が希薄化する中、市民の誰もが、生きがいを持ち、共に支え合い、健康で笑顔あふれる豊かな暮らしを実現できるよう、地域包括ケアシステムの推進や重層的支援体制整備事業などのさらなる推進を図ってまいります。

3つ目は、地域経済のバージョンアップであります。

地域資源を活用した生産性の向上、水産業と観光業、商業などを組み合わせた産業振興の推進と企業進出への支援を行ってまいります。また、焼津の温泉と食の魅力を広く発信し、関係人口の拡大と地域経済の活性化につなげてまいります。

4つ目は、デジタル活用のブラッシュアップであります。

コロナ禍を経て、デジタル技術は目覚ましいスピードで進歩しております。人口減少、労働力不足が進む中、デジタル技術やデジタルデータをさらに活用し、より質の高い行政サービスの提供、地域経済の活性化、豊かで快適な新しい暮らしの実現に向け、デジタルトランスフォーメーションを推進してまいります。

5つ目は、防災・減災対策のレベルアップであります。

能登半島地震以降も、全国各地で地震災害や風水害が発生し、近年、本市においても台風の接近や豪雨の発生による被害が生じております。激甚化・頻発化する自然災害に備え、ハード・ソフト両面から、地震・津波対策や流域治水対策を始めとする、さらなる防災・減災対策を進めてまいります。

6つ目は、部局を横断した課題解決力のパワーアップであります。

まず、今年度は、第6次焼津市総合計画第2期基本計画の最終年度であるため、第7次焼津市総合計画として、新たな基本計画の策定を進めてまいります。総合計画を着実に実現するため、重要課題に対しては、引き続き部局を横断した「プロジェクトチーム」を設置し、課題解決に取り組むとともに、計画と予算、組織が連動する行政経営システムを運用して、データ分析に基づく政策形成、行政評価の取り組みを推進してまいります。

市民の皆様の御理解と御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

組織

新体制がスタート 市役所の組織改正

主な改正

■総務部

新設 総務課 統計担当

「統計担当」を設置し、令和7年度国勢調査や基幹統計調査などの業務に対応します。

新設 人事課 職員厚生担当・給与担当

「職員厚生担当」と「給与担当」を設置し、人材育成・確保基本方針に基づく職場環境の整備とワーク・ライフバランスの向上に取り組みます。

■行政経営部

新設 政策企画課 総合計画推進担当

「総合計画推進担当」を設置し、次期総合計画の策定と施策や事務事業の成果検証を行い、着実な総合計画の事業推進を行います。

新設 シティセールス課 シティプロモーション室

「シティプロモーション室」を設置し、焼津市が持つさまざまな魅力ある地場産品などを市内外に強力に発信していきます。

■健康福祉部

新設 地域福祉課 重層的支援推進室

「重層的支援推進室」を設置し、市民の困りごとに対し、分野を横断した重層的支援を行います。

■都市政策部

新設 公共建築課 公共建築担当

「公共建築課」を設置し、公共建築の諸問題に対し、適切な対応を行います。

人口減少や超少子高齢化の進行、デジタル化の急速な進展など、社会経済情勢の先行きが不透明で将来の予測が難しい時代にある中で、複雑化・複合化する課題に対し、課や室、担当を設置するなど体制をさらに強化します。

問合せ 政策企画課 ☎626-2141



組織一覧はこちら

変更しました

同報無線のチャイム音

市では、同報無線通報の機器定期点検のため、平日午前7時30分と午後4時30分に定時通報としてチャイム音を放送しています。

このほど、このチャイム音について、響きにくい音質に変更しました。ご理解とご協力をお願いします。

問合せ

- 放送内容について…シティセールス課 ☎626-2145
- 機器について…地域防災課 ☎623-2554

令和7年度 主要事業の概要

※写真やイラストはイメージです。実際と異なる場合があります。



市ホームページ

【凡例】

- 新規** …今年度新たに取り組む事業など
- 強化** …既存事業を強化・拡充して取り組むものなど
- PT** …部局を横断し、庁内プロジェクトチーム（PT）で取り組む事業

■市の主要事業（概念図）

【重点1】

すくすく育てる
子ども・子育て支援のグレードアップ



【重点2】

つながりと支えあいが織りなす
健康・共生社会実現へのステップアップ



【重点3】

生産性の向上と地域資源の活用による
豊かな地域経済へのバージョンアップ



【重点4】

充実した市民サービスと行政運営を支える
デジタル活用のブラッシュアップ



【重点5】

地域の安全・安心を支える
防災・減災対策のレベルアップ



【重点6】

部局を横断した
課題解決力のパワーアップ



人口減少社会の中でも
持続可能なまちにしてい

重点取り組み

【重点1】

すくすく育てる 子ども・子育て支援のグレードアップ

放課後児童クラブの運営

予算額：4億1,599万円 **強化 PT**

■第2子以降、低学年無料・高学年半額

第1子が放課後児童クラブを利用していないくても、第2子以降の利用料は、低学年（小学1～3年）は無料、高学年（小学4～6年）は半額とします。第2子のカウント方法をクラブの利用状況を問わない市独自の基準に変更するなど、子どもたちの健やかな育ちを支援します。



幼児教育・保育無料化

予算額：36億4,077万円 **PT**

■保育料の第2子以降無料化

国の制度に加え、さらなる市独自の子育て支援策として、世帯収入や第1子の年齢に関係なく、第2子以降の保育料の無料化を引き続き実施します。

経済的負担の軽減により、安心して子育てができる環境づくりを推進します。



子ども医療費の助成

予算額：7億8,322万円

■子どもの医療費を完全無料化

0歳から高校生世代までの医療費の完全無料化を継続します。

県内トップクラスの市の独自支援策として、子どもたちが安心して必要な医療が受けられるよう、入院・通院にかかる医療費（保険診療分）の自己負担分を全額助成します。



小・中学級支援員の配置

予算額：1億6,535万円 **強化 PT**

■小・中学校の支援員を増員

授業での個別学習や学校生活の支援を行う「特別支援学級サポーター」や「学びの充実サポーター」、「低学年サポーター」などを市内全ての小・中学校に配置します。今年度は支援員を11人増員し、合計122人の支援員が子どもたちをサポートします。



小・中学校の教育環境整備

予算額：3億7,997万円

■全ての小・中学校校舎のトイレ洋式化が完了

児童生徒の教育環境の向上を図るため、「学び舎にここに元気計画」に基づき、トイレの洋式化（大井川西小・大井川南小）やロッカー改修（港小・小川中）などを行います。

今年度で全ての小・中学校校舎のトイレの洋式化が完了します。



児童生徒の就学援助

予算額：1億2,076万円

■保護者の負担を軽減

経済的理由で就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費や学校給食費などを支給します。学校夏季休業期間の昼食費や進学・進級時に児童生徒へ教育費を支給します。

豊田地区の公園整備

予算額：1億4,400万円 **新規**

■豊田地区に新しい公園を整備

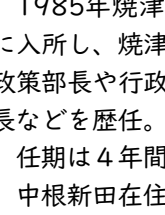
本市で初めて無償借地公園制度を活用して整備を進めている豊田地区の新しい公園が、今年度末に開園します。夏場でも公園で遊べるよう、猛暑対策を踏まえて整備します。



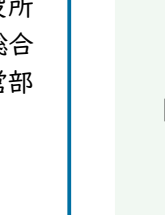
村松議長



河合副議長



川島監査委員



飯塚副市長

同報無線のチャイム音

市では、同報無線通報の機器定期点検のため、平日午前7時30分と午後4時30分に定時通報としてチャイム音を放送しています。

このほど、このチャイム音について、響きにくい音質に変更しました。ご理解とご協力をお願いします。

問合せ

- 放送内容について…シティセールス課 ☎626-2145
- 機器について…地域防災課 ☎623-2554